［商月三十二晉第三種郵便物認可］　昭和十一年六月十四日　磐城新聞　［日曜日］　第四千六百四十九號　〔一〕

夕刊
磐城新聞
六月十三日發行
（日曜祭日翌日休刊）

奈良新緑

辰巳和子

幅一間の裏川の流れを隔て山肌にも夕闇は絡みつゝ、てゝ、二階の下は青々と續く麥畑である。籠つて居てのは大佛殿の大屋根の金のも、風に走る麥の穗波はさ、ざ〳〵と音に立ち、栗の畑を越しに遠い麥圃の果てから終日物悲しい芝笛も響く

草原の青さ、木々の白緑の芽吹き、若葉は仄明りの月光の下では仄々と圓み、咲く花でもある。又眞陽の下では銀鱗の煌きに、爽やかな夏の趣きをさかんに示威し始める

佐保山に續く黒髪山麓の鐵道の廢線に立てば、生駒の山脈を染める夕映は物懐しい哀感もあつて、古都の寺々の夕べの鐘と溶け合ふ

佐保山の斜面の奥福院の山門——苔を厚く盛つた石段を上り行く足許を、眞黒な大蟻は忙し氣に横切つた山寺の夕べの氣は冷い。人影も無い鐘樓に夕闇はひそかに纏はりつゝ足許の苔が仄かに匂ふ

小高い境内から見る大和野は昏れて、春日山の森がこんもりと暗い。新緑の最も美しい若草山の軟らかい目覚める様な新緑に紲雨の煙る春日公園に入れば、南圓堂の築土塀の下や、古いみ堂の床下、さては丹塗りの春日神社の廻廊の下などに鹿の群れは相寄りつゝ圓らな瞳をうつとりさせて靜かな雨の醸す詩情に溶け込んで居るのを見るであらう

白い築土塀に圍まれた佐保山の斜面の尼寺に夕べは鐘の音が流れて、其處に並び咲いた蒲公英はいつか崩れた土塀下の雜草交りに呆けて、白い綿毛となつてしまつてゐた

熟れつくした麥の黄の色は哀しく、乾燥し切つた氣流に乘つて蒲公英の灰色の綿毛は六月の太陽を慕うて飛び去つて行くのであつた

澤村勝爲（其ノ三）

珠雲　小野務平

鄉民恰望早天雲
禹績成兮名姓芬
祠畔良銅鑄偉士
千秋仰止へ磨勳

朧

柚原貝二

こぶしの花が散つたのかあなたが顔を俯せたのかきても眸のうるみ來ておぼろの途に立ちつくす

咳き

みにくき世にけがれ無き人の住むそれは悲しむべしこれは喜びてよし

蛙となめくぢ

土原清

（上）

長い長い冬が漸く過ぎました

芹だの、もち草だの、それから瓢きんな、つくしんぼだのが、ぼか〳〵と陽春の日を受けてむく〳〵とのび出しました

穴の中では蛙のコロ吉と蛇のペロ太となめくぢのノロ八の三人が仲良く眠つて居りました

ところが暖い〳〵春は穴の中にまでやつて來ました

一番先に眼を覺ましたのは蛙のコロ吉でした。大きなお目をショボ〳〵させながら『アーツ・アーツ』と大きなあくびを二つしました

『アーヨクネムツタ、モウするとオヤ〳〵〳〵、コハルガキタノカナ、バカニロチヤンの足もとは大好物アタ、カイナ』

と、も一つあくびを『アーツ』としました

丁度そこへやつて來たのずに居たのですから『ツワ『ツワアタ、カクナツテキタゾ、ムニヤムニヤ』

ペロ太も大變お腹がすいてゐたのでねむい眼を一生懸命ひらいて穴の中を見まはしました

赤い舌をペロ〳〵出して今やつと起きたのはソンキな蛇のペロ太ではありませんか。コロ吉はなめくぢどころか自分の食べられそうなものであつたら逃げやうとしてしまつたわい。あツはツはツ……』

殊更力強く言つたが、その言葉は却て、和喜次に、わびしいものを感じさせた

元三郎は少しの間、ちツと默つてゐたが、やがて又『確かりやつて呉れ。今後はお身等の天下が、必ずや裡に甦つて來る。それだけに俺は、俺にだけは、修業させ

と云ひながらも忙しそうに外へ出て行きました

蛙のコロ吉はペチヤンコなお腹をツルリとなでゝヤツコラサと起き上りました

と、オヤ〳〵〳〵、コロチヤンの足もとは大好物のなめくじが眠つて居りましたした。なにしろコロ吉は去年の秋の中頃から何も食べ

と、叫んだ

『ウワアタ、カクナツテキタゾ、ムニヤムニヤ』

と躍び上つて喜んで、

『パクツ』と食べやうとしましたその時……『ウバーツ』と大あくびが後、モウトツクニ、ハルガの方でしまひました。コロ吉は

ぎよツとして、立上りながら叫んだ

元三郎が吃驚して

『どうした？』

『祖母様が、今朝江戸へ發たれました。途中で火事と聞かれたら、屹度引返すにちがひありませぬ。この火で……』

『一人でか？』

『一人です』

『うむ……』

『捜して來ます！』

走り出さうとするのを

『駄目だ。迚もいかん。第一、何處を捜して宜いやらそれにこの火では、この人では、お身には到底危險で

高橋是清

小說

（36）

松浦泉三郎作

佐々木今朝吾畫

火炎の巻　（四）

和喜次は、默つた儘、口許で笑つた。元三郎は獨り首肯いて

『今後は、外國の學問かなつてはものゝ役に立たんからな。卓屈な據爽思想で、外國の文明にまで目を覆はふなどは古い〳〵』

和喜次は嬉しくなつて

『貴男も英學をおやりですか？』

『莫迦な』

元三郎は自嘲するやうに笑つて

『俺のやうな乞食浪人が、今更英學など學んでどうなるものか』

『でも、學問におそいと言ふことは、ござりますまい！』

『駄目だ！』

吐出すやうな聲音だつた

『第一俺はもう、ひどく此處をやられてゐる。永いことはない身體なのだ！』

胸を指差して見せた

『そんな元氣はとうに失つてしまつたわい。あツはツはツ……』

殊更力強く言つたが、その言葉は却て、和喜次に、わびしいものを感じさせた

元三郎は少しの間、ちツと默つてゐたが、やがて又『判りました』

和喜次も涙ぐましくなつて、同じやうな低い聲で答へた

元三郎は、それきり默つてしまつた。和喜次も無言だつた

ふと和喜次は、今の相手の言葉に今まで全く忘れて……』

と、叫んだ

眞に偶然と言はふか、喜代子が足をひきずりながら而も六之助に導かれて、人ごみの中を和喜次を見出して走つて來る

平郵便局俳黎會

五月句會

下

釣糸の波紋ゆるゝや新樹かげ　松露
五月雨に靴の破れをかこちけり　白砂
馬蠅をたゝきて耻辱へけり　甲子
たゝきたる蠅を集めて數へけり　甲子
櫻若葉池の小島をおほひけり　艶女
一茶の句思ひ出しけり蠅叩き　みつる
雨去りて肌清らかなる新樹かな　水明
五月雨畦に崩れ出しこぼれ麥

磐城歌壇題詠募集

六月題詠　新妻久滿夫選

『麥』
『雲』
歌數自由
締切　六月二十日

不二タクシー

電話三二番

目科療診
一、齒科一般
保存科、補綴科、機綴架工科
齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長　中野惠次
日本齒科醫學士
日本齒科醫學士　西川誠
（見習看護婦募集）
平町田町（松月堂向ヒ）電話五〇九番

整形外科專門
X光線科
醫學士　大河内一郎
柔道整復師　大河内寅男
平町才槌小路四
大河内整形外科醫院
電話五八八

磐城の御みやげ品
名物　靈峰羊羹　金十錢
姉妹品　柿羊羹。のり羊羹。
沼ノ内辨天羊羹。
御旅のお出入には好個のお土産品です。
小賣御希望の方お申越下さい。
小川鄉驛前
製造發賣元　平屋賣店

一等質品
電話二六八番
平牛乳舍
平町・九品寺前

產婦人科
外科
藥局
院長　木村寅次郎
醫學博士　内木宗八
藥劑師　大岩俊雄
平町新川町十九番地
入院隨意　病室完備
木村病院
電話一六四番

勉強ノ店　（良クテ安イ）
建築美品
床柱、天井板、ベニア板
新入荷品、秋田杉四分板、
山川印優品建具材
平町紺屋町
余織田材木商店
電話平四六〇番
内外銘木　建築木材一式　便利瓦木羽
◎建築木材類ノ御用命ハ誠實勉強ノ當店ニ◎

石炭　一〇〇%サーヴ井ス
時節柄ダンゼン値下げ！
一等塊　正味五十斤入一俵　金二拾八錢
特塊　同　同　金二拾五錢
品質が優良（値段バカリ安クトモ結局高イモノニナリマス）
目方が正確（）デナケレバ
此の點は當店を絶對に御信用願ひます。
▲市内は一俵より迅速に配達致シマス。
電話三七番
石炭コークス炭　豆炭
㊥阿部石炭商店

產婦人科
花柳病科
井坂醫院
平町田町（元合津醫院跡）
電話五五九番
午前宅診
午後往診
入院應需

平町田町（電話五三一番）
内科　小兒科
外科　花柳病科
耳鼻咽喉科　レントゲン科
醫學士　高久忠治
新潟醫學士　赤羽清
藥劑士　佐竹菊雄
高久病院

夜間診療
胃腸病
性病
專門
内科
腸胃病科
花柳病科
性病科
皮膚科
（見習看護婦募集）
松村醫院
腸胃病科
性病科
（平町南町電一〇七番）

磐城高等女學校
夏の新制服賣出
輝く碧空の下に颯爽となかやの制服で！
型・生地・裁縫細かい點にまで充分吟味してございます。
1圓45錢ヨリ
ふかや洋服店　平三〇三

鄰　城　新　聞

會員五百一堂に會し
女性報國の趣旨強調
——愈あす愛婦分會初總會——

その趣旨『婦人報國』に基いて會員一致協力、軍學後援事業を始め各種の社會事業に好成績を擧げてゐる愛國婦人會平分會では愈よ明十四日の日曜を卜して本縣支部長知事夫人伊藤富士子氏を招き會員約五百餘名が新裝の磐女講堂に會し一層『女性報國』の趣旨を強調する事となつた

會は午前十時開會　皇大神宮　宮城遙拜　令旨奉讀　總裁殿下御旨拜讀　宣言　決議事項を附議　支部長　來資の祝辭あり

次いで支部長並分會長より傷痍軍人同遺族各九名に對する慰問品贈與、永年勤續役員七名を表彰、終つて午後一時から本部講師薄田清女史の講演餘興として『子供の躾方』等で和氣藹々の裡に閉會する

勤續者表彰　前記總會で伊藤支部長並に菁沼分會長より表彰される永年勤續者左の如し

二十四年—山崎キン子　大橋昌子　三井ミキ子

十二年—清野キヨ子　門傳登美乃　藤田ミエ子（以上幹事）鈴木允（書記）

江筋組合が主体で
澤村公銅像計劃
近く大綱決定か

神谷靑年團の創意に係る澤村公の銅像建設計劃は過般來夫々關係方面の意向を取纒めた結果、性質上江筋組合を主体とし郡及地元靑年團が之に合流する事になり過般管理者當澤事務官來郡の際る小檜山郡聯合團長、大嶺平、神谷神谷の關係諸氏が會合種々申合せの上近く江筋の臨時總會に附し大体の方針を樹つる事になつたと

平窪村民年次供養　平窪村では公の屠腹日に相當する來月十四日關係部落各戸より白米一升宛を集め、利安寺に於て毎年通り供養を行ふと

實業教育視察指導研究會
來十六日から四日間
郡下各校の視察日程決る

縣實業教育振興會石城郡支會主催の郡内實習地視察指導研究會は小學校、靑年學校に於ける農業實習施設について視察をなし實業教育の振興を期するため來る十六日から十九日まで開催される、指導者は縣の實業教育幹事佐々木幸氏支會長西山直三郎氏、郡市會技術員で參加者は郡内農業科擔任教員、小學校長、靑年學校長である視察學校の日程は

△六月十六日川部　山田　菊多植田△十七日玉川　小名濱　泉　渡邊△十八日好間　内郷　飯野　△十九日高久　夏井　草野の各校

縣軟式野球爭覇
あす平商第一の熱戰

縣軟式野球郡支部大會は愈々明十四日午前八時から平商、平第一兩校庭に開催される、各隊より選出された代表は左の六チーム熱戰を豫想されてゐる

（第一區）勿來チーム　植田クラブ　（第二區）小名濱クラブ　湯本クラブ　（第三區）平鹽道クラブ

隅田川炭礦チーム

法曹野球連○○○○　明十四日相馬に遠征する平法曹野球チームは昨十二日平第一校敎員チームと對戰、六對三で捷つ

濱三郡中等校柔道大會　濱三郡中等學

十日新京で署名調印を活用實施方法に關する協議會が昨日した滿洲國に於ける治外法權撤廢に關する條約は下に在る東北農村の實情に鑑み洵に吟行中であつた俳壇の巨人高濱虛子氏は『フランスの女美し木の芽また』と云つてゐるがこれも出御裁可を經て昨十二日の官報で公布された。——卽した有意義な新施設が望ましいものである

滿洲國の領域内に於ける日本國臣民の居住往來、農商工業その他公私各種の業務及職務に從事する自由、土地に關する一切の權利々益に關し滿洲國民に比べて不利益なる待遇を受けない——何と燦然たる第一條の金字塔ではある

農村社會問題に積極的に對應するも忽しも無い成績である

今回は瀨踏みの程度
持久的に運動を續行
勿來＝久ノ濱間國道鋪裝陳情經過に就て　靑沼平町長談

勿來—久ノ濱間國道鋪裝期見込なく結局何ケ年かの繼成同盟會の赤津勿來、古川縫事業となるべく決して前植田、大和田磐崎、靑沼平單な問題ではないので、之新妻四倉各町長一行は既報くる方針であると

百花競艷
三味の好調いみじく
脚光に浮く夢幻の國
平美形總出演の番組決定

慶報—來廿七、八兩日午後五時から聚樂館で催さるる平藝妓總出演の第二回慈善舞踊大會は、當日東都から花柳德兵衛、同德之丞、清元小喜久太夫外五師匠、鳴物望月左七社中、鷺師衣裳師迄繰り込む大掛りなもので逐日人氣の沸騰を加へて居るが、愈々田町松月、玉屋、山形屋、元岡の各商店で前賣券の發賣を始め、本格の賄立てに入つた

番組

二十七日(初日)△清元『四季三番』千歳—花柳德兵衛　丞翁—花柳德三郎　三番—花柳德三郎　△小品舞踊『野崎小唄』君子　いなご　ちか丸　小太郎　宮子　かの子　△長唄『越後獅子』平賀常夫　晴巳　季を前にして昭和人絹工場付不能金太郎　△小品舞踊『悲戀三態』お駒—お千代　お夏—千惠丸　お染—二十八日(二日目)△清元『四季三番』初日に同じ　△小品舞踊『野崎小唄』勘平　千代丸　のぶ子　幸榮　おちやら　だん子　△長唄『越後獅子』初日に同じ　△小品舞踊『悲戀三態』初日に同じ　△長唄『近江のお兼』菊枝　△清元『夕立』小猿七之助—千成　御守殿お瀧—貞丸　△長唄『大原女』光惡　△清元『鞍馬獅子』郷の君—三三子　喜三太—濱蓉　△長唄『操り三番』初日に同じ　△清元『保名』多美子　△長唄『連獅子』初日に同じ　△『番外餘興』

經濟統制
六ケ町村が一丸
産業組合聯合會結成
今秋九月から事業開始

縣では農村工業をて水産物の加工、販賣統制目的とする産業組合聯合會の組織を九月上旬から事業を開始の奬勵してゐるが十磐崎村の二産業組合も加入をなす筈だつたが總會の決議が間に合はなかつたため加入出來なかつたが、これも近く同聯合會に加盟する筈で經濟統制の一表現と見千圓、水産加工を唯一の目的とし六組合が一致團結し

內鄕村で
自動車衝突
幸ひ乘客は無事

十三日朝七時半頃小名濱町古港トラック業中野直康方運轉手荻光照(二三)がトラックを運轉、平町から湯本方面に向け內鄕村御厩字上宿地內國道を疾走中湯本方面から來た湯本町鈴木自動車部の乘合＝運轉手田代傳六(二六)＝とリヤカーを避けんとして衝突双方共ガラス戸を破壞した程度で濟んだ

誘拐魔淸水
廿日平支部で公判

誘拐魔當時住居不定無職埼玉縣兒玉郡賀美村勅使河原仁井田、好間、小玉の四河終了を待ち着工する事となつた

七二生れ淸水五郎(三一)に係川砂防工事を目論んでゐたる營利誘拐詐欺事件は愈々昨秋の水害で欠潰した永來る二十三日午前十時より戸、赤井村地內、夏井川沿萬五千圓を計上近く割當

砂防工事と林道開設
平營林署で近く着工

平營林署では既報の如く總計を急いでゐたが此程完了したので愈よ今月末の田植

三井タクシ
電話六八五番

處分に附された、郡下では今年度に入つて計四頭出た

十四日

（小名濱測候所發表）

日出　四、二〇　月出前　〇、〇八
日沒　六、五四　月沒後　一、二六
滿潮後　一、一五　干潮前六、三五
滿潮前一一、三五　干潮後四、三〇

十五日

日出　四、二〇　月出前　〇、四三
日沒　六、五四　月沒後　二、三六
滿潮後一一、四〇　干潮前六、五五
滿潮前一〇、五五　干潮後四、三〇

損害賠償金交涉
人絹の鹽素ガス被害に
錦村代表會社側へ

錦村中田地內の苗代は田植め廣範圍に亘つて枯死し植付不能を叫ばれてゐるので先頃來郡農會等でこれが被害を調べてゐたが愈よ今十三日午後七時から被害者側代表、村農會長等が會社側と會見、これが被害程度による損害賠償金を交涉する筈

『俺は代議士の甥だ』
札ビラを切る怪靑年
昨夜湯本町で捕る

十二日の深更湯本町のカフエーを片つ端から飲み歩い査が調べると『俺は小島代議士の甥だ』と威猛高になて札ビラを切つてゐた不審つたので引致しやうとした者があるので追究した結果東白川郡論田村生れ藥谷榮郎(三三)で一昨年五月殺人未遂で懲役五年の刑を終へ福島刑務所を出獄して郡内に流れ込み昨年夏頃中町で自轉車を窃取して高飛び最近再び舞ひ戻り磐崎村鏡泉宿姥の湯に潜伏してゐたもので目下郡上岡村迄本岡字夜森魚商同人は去る八日から前記姥の湯に泊り込み相馬郡下の田を買ふべく二百圓を所持、都合で百圓を鄕里の母の許に送り返した

天氣豫報

小名濱測候所觀測

今晚も明日も南の風晴一時曇

拈華微笑

（今日題）

去る二月以來令孃を帶同歐羅巴を三日午後代表、と會見、よる損害を閒

×

『戻り來て瀨戸の夏海繪の如し』

明後十五日受檢左の如し

△十四日

徵兵檢查

（體檢）川前二八　內鄕（本籍のみ）九一　計一一九（學力）永戶組合五四　高久　飯野四一　計一三〇（體檢）永戶組合　高久　飯野　計一三〇（學力）內鄕村（入寄留者）一二一

△十五日

六ケ町村が一丸
產業組合聯合會結成
今秋九月から事業開始

縣では農村工業をて水產物の加工、販賣統制目的とする產業組合聯合會の組織を九月上旬から事業を開始の奬勵してゐるが十磐崎村の二產業組合も加入をなす筈だつたが總會の決議が間に合はなかつたため加入出來なかつたが、これも近く同聯合會に加盟する筈で經濟統制の一表現と見千圓、水產加工を唯一の目的とし六組合が一致團結し

經濟統制
會員五百一堂に會し
女性報國の趣旨強調
——愈あす愛婦分會初總會——

その趣旨『婦人報國』に基いて會員一致協力、軍學後援事業を始め各種の社會事業に好成績を擧げてゐる愛國婦人會平分會では愈よ明十四日の日曜を卜して本縣支部長知事夫人伊藤富士子氏を招き會員約五百餘名が新裝の磐女講堂に會し一層『女性報國』の趣旨を強調する事となつた

會は午前十時開會　皇大神宮　宮城遙拜　令旨奉讀　總裁殿下御旨拜讀　宣言　決議事項を附議　支部長　來資の祝辭あり

次いで支部長並分會長より傷痍軍人同遺族各九名に對する慰問品贈與、永年勤續役員七名を表彰、終つて午後一時から本部講師薄田清女史の講演餘興として『子供の躾方』等で和氣藹々の裡に閉會する

勤續者表彰　前記總會で伊藤支部長並に菁沼分會長より表彰される永年勤續者左の如し

二十四年—山崎キン子　大橋昌子　三井ミキ子

十二年—清野キヨ子　門傳登美乃　藤田ミエ子（以上幹事）鈴木允（書記）

江筋組合が主体で
澤村公銅像計劃
近く大綱決定か

神谷靑年團の創意に係る澤村公の銅像建設計劃は過般來夫々關係方面の意向を取纒めた結果、性質上江筋組合を主体とし郡及地元靑年團が之に合流する事になり過般管理者當澤事務官來郡の際る小檜山郡聯合團長、大嶺平、神谷神谷の關係諸氏が會合種々申合せの上近く江筋の臨時總會に附し大体の方針を樹つる事になつたと

平窪村民年次供養　平窪村では公の屠腹日に相當する來月十四日關係部落各戸より白米一升宛を集め、利安寺に於て毎年通り供養を行ふと

實業教育視察指導研究會
來十六日から四日間
郡下各校の視察日程決る

縣實業教育振興會石城郡支會主催の郡内實習地視察指導研究會は小學校、靑年學校に於ける農業實習施設について視察をなし實業教育の振興を期するため來る十六日から十九日まで開催される、指導者は縣の實業教育幹事佐々木幸氏支會長西山直三郎氏、郡市會技術員で參加者は郡内農業科擔任教員、小學校長、靑年學校長である視察學校の日程は

△六月十六日川部　山田　菊多植田△十七日玉川　小名濱　泉　渡邊△十八日好間　内郷　飯野　△十九日高久　夏井　草野の各校

縣軟式野球爭覇
あす平商第一の熱戰

縣軟式野球郡支部大會は愈々明十四日午前八時から平商、平第一兩校庭に開催される、各隊より選出された代表は左の六チーム熱戰を豫想されてゐる

（第一區）勿來チーム　植田クラブ　（第二區）小名濱クラブ　湯本クラブ　（第三區）平鹽道クラブ

隅田川炭礦チーム

法曹野球連○○○○　明十四日相馬に遠征する平法曹野球チームは昨十二日平第一校敎員チームと對戰、六對三で捷つ

濱三郡中等校柔道大會　濱三郡中等學

十日新京で署名調印を活用實施方法に關する協議會が昨日した滿洲國に於ける治外法權撤廢に關する條約は下に在る東北農村の實情に鑑み洵に吟行中であつた俳壇の巨人高濱虛子氏は『フランスの女美し木の芽また』と云つてゐるがこれも出御裁可を經て昨十二日の官報で公布された。——卽した有意義な新施設が望ましいものである

滿洲國の領域内に於ける日本國臣民の居住往來、農商工業その他公私各種の業務及職務に從事する自由、土地に關する一切の權利々益に關し滿洲國民に比べて不利益なる待遇を受けない——何と燦然たる第一條の金字塔ではある

農村社會問題に積極的に對應するも忽しも無い成績である

今回は瀨踏みの程度
持久的に運動を續行
勿來＝久ノ濱間國道鋪裝陳情經過に就て　靑沼平町長談

勿來—久ノ濱間國道鋪裝期見込なく結局何ケ年かの繼成同盟會の赤津勿來、古川縫事業となるべく決して前植田、大和田磐崎、靑沼平單な問題ではないので、之新妻四倉各町長一行は既報くる方針であると

百花競艷
三味の好調いみじく
脚光に浮く夢幻の國
平美形總出演の番組決定

慶報—來廿七、八兩日午後五時から聚樂館で催さるる平藝妓總出演の第二回慈善舞踊大會は、當日東都から花柳德兵衛、同德之丞、清元小喜久太夫外五師匠、鳴物望月左七社中、鷺師衣裳師迄繰り込む大掛りなもので逐日人氣の沸騰を加へて居るが、愈々田町松月、玉屋、山形屋、元岡の各商店で前賣券の發賣を始め、本格の賄立てに入つた

番組

二十七日(初日)△清元『四季三番』千歳—花柳德兵衛　丞翁—花柳德三郎　三番—花柳德三郎　△小品舞踊『野崎小唄』君子　いなご　ちか丸　小太郎　宮子　かの子　△長唄『越後獅子』平賀常夫　晴巳　季を前にして昭和人絹工場付不能金太郎　△小品舞踊『悲戀三態』お駒—お千代　お夏—千惠丸　お染—二十八日(二日目)△清元『四季三番』初日に同じ　△小品舞踊『野崎小唄』勘平　千代丸　のぶ子　幸榮　おちやら　だん子　△長唄『越後獅子』初日に同じ　△小品舞踊『悲戀三態』初日に同じ　△長唄『近江のお兼』菊枝　△清元『夕立』小猿七之助—千成　御守殿お瀧—貞丸　△長唄『大原女』光惡　△清元『鞍馬獅子』郷の君—三三子　喜三太—濱蓉　△長唄『操り三番』初日に同じ　△清元『保名』多美子　△長唄『連獅子』初日に同じ　△『番外餘興』

經濟統制
六ケ町村が一丸
產業組合聯合會結成
今秋九月から事業開始

縣では農村工業をて水產物の加工、販賣統制目的とする產業組合聯合會の組織を九月上旬から事業を開始の奬勵してゐるが十磐崎村の二產業組合も加入をなす筈だつたが總會の決議が間に合はなかつたため加入出來なかつたが、これも近く同聯合會に加盟する筈で經濟統制の一表現と見千圓、水產加工を唯一の目的とし六組合が一致團結し

內鄕村で
自動車衝突
幸ひ乘客は無事

十三日朝七時半頃小名濱町古港トラック業中野直康方運轉手荻光照(二三)がトラックを運轉、平町から湯本方面に向け內鄕村御厩字上宿地內國道を疾走中湯本方面から來た湯本町鈴木自動車部の乘合＝運轉手田代傳六(二六)＝とリヤカーを避けんとして衝突双方共ガラス戸を破壞した程度で濟んだ

誘拐魔淸水
廿日平支部で公判

誘拐魔當時住居不定無職埼玉縣兒玉郡賀美村勅使河原仁井田、好間、小玉の四河終了を待ち着工する事となつた

七二生れ淸水五郎(三一)に係川砂防工事を目論んでゐたる營利誘拐詐欺事件は愈々昨秋の水害で欠潰した永來る二十三日午前十時より戸、赤井村地內、夏井川沿萬五千圓を計上近く割當

砂防工事と林道開設
平營林署で近く着工

平營林署では既報の如く總計を急いでゐたが此程完了したので愈よ今月末の田植

三井タクシ
電話六八五番

處分に附された、郡下では今年度に入つて計四頭出た

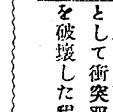
十四日

（小名濱測候所發表）

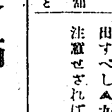
日出　四、二〇　月出前　〇、〇八
日沒　六、五四　月沒後　一、二六
滿潮後　一、一五　干潮前六、三五
滿潮前一一、三五　干潮後四、三〇

十五日

日出　四、二〇　月出前　〇、四三
日沒　六、五四　月沒後　二、三六
滿潮後一一、四〇　干潮前六、五五
滿潮前一〇、五五　干潮後四、三〇



舊四月廿日曜　佛滅　大安　赤口　先勝　友引　先負　仏滅　大安　赤口　先勝　友引　先負　佛滅
新六月十四日　戊辰　己巳　庚午　辛未　壬申　癸酉　甲戌　乙亥　丙子　丁丑　戊寅　己卯　庚辰　辛巳
宿　昴　畢　觜　參　井　鬼　柳　星　張　翼　軫　角　亢　氐



舊四月十六日　己酉　土用　大安　赤口　先勝　友引　先負　仏滅　大安　赤口　先勝　友引　先負
新六月十五日　己酉　土用　大安　赤口　先勝　友引　先負　仏滅　大安　赤口　先勝　友引　先負
宿　房　心　尾　箕　斗　女　虛　危　室　壁　奎　婁　胃　昴

店頭裝飾品
目下全國的流行ノ
ダイヤネオン
（一名アメンボー）

平町一丁目
森下商店

大至急
會員募集

年齡、學歷を問はず堅實なる婦人を望む

平町紺屋町
上原家政婦會
電話二二番

夏服地ハ
『リフアイン テツクス』
に決めて下さい。

座6銀9電45
店服洋屋崎大

Refinetex

ス　テ　ー　プ　ル
ク　ー　ム　ス　ラ　ン
ツ　コ　ス　チ　ク　ス
リ　ー　ム　ー　ー　ン
フ　ア　レ　ス　ル　グ
ア　ー　ク　ト　レ　ネ
イ　ン　ボ　ラ　ー　ー
テ　ー　ー　ー　ン　種
ツ　ス　コ　ツ　グ　各
ク　ト　ー　リ　ス
ス　ラ　ン　ー　ン
リ　ー　ー　ー　ー
フ　ア　レ　ー　ー
ビ　バ　リ　ボ　フ　テ　ト　シ　ス

業界最高級紗羅